

あたらしい絵本

No. 517 2025.12.10



『おかいものぶくろのうーちゃん』 青山 友美／絵

・うーちゃんは、お買い物袋です。お母さんがお買い物に出かけるときは、いつもいっしょ。なのに今日、お母さんはうーちゃんを置いてお買い物に出かけてしまいました。あわてて追いかけるうーちゃんですが…。（幼0～5歳）



『ひぐま』 あべ 弘士／作

・ひぐまのあかちゃんは冬眠中にうまれる。「かあさん、あのトントンはなんのおと?」くらい巣穴のなかで、親子が話をしていると…。野生のいのちの神秘を描く。（幼0～5歳）



『どうぶつすやすや』 たしろ ちさと／文・絵

・そろそろおやすみの時間です。動物さんは、どうやって寝るのかな? 子象さんは、「ぱたん!」と寝ちゃった。チンパンジーくんは、葉っぱのベッドを作って寝る準備をして…。みんなおやすみ。すやすやすや～。（幼0～5歳）



『くまくんこぐまくんのおいもほり』 松田 奈那子／絵

・おいもほりにでかけた、くまくんとこぐまくん。いっぱいとれて大満足! さっそく食べようと思ったけれど、くまくんは「てんぷらにしよう」と言い、こぐまくんは「やきいもがいちばん」と言って…。（幼0～5歳）



『いやいやはるくん』 田中 六大／絵

・はるくんは、ただいま絶賛イヤイヤ期。「あれもいや」「これもいや」「ぜんぶいや」。なにをするのもいやすぎて、いろいろなものに大変身!? 親子でおらかにイヤイヤ期を過ごす絵本。（幼0～5歳）



『おわにさま』 きたがわ めぐみ／作

・おわにさまはまだ子どものわにの殿様。たくさんの大臣たちにお世話されて大忙しの毎日ですが、また逃げ出して…。愛情と笑顔あふれる物語。マクドナルド「ほんのハッピーセット」の絵本として配布された作品を書籍化。（幼0～5歳）

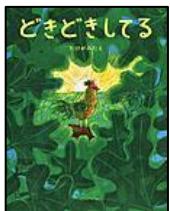


『そうだ、いいものつくってあげる!』

アシュリー・スパイアーズ／作

・女の子といぬは、なかよしコンビ。ある日、女の子は「いいものつくってあげる!」とがんばります。でもなかなかうまくいかず、いろいろな失敗をしてしまいました。すると、いぬが女の子を散歩にさそって…。（幼0～5歳）

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



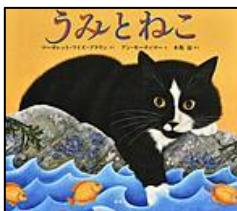
『どきどきしてる』 たけがみ たえ／著

・みんなみんな、どきどきしてる。いまこのとき、このしゅんかん。どきどきして、生きている。うれしいときも、かなしいときも-。力強い木版画と素朴な言葉でつむぐ、やさしく朗らかな生きもの讃歌。（幼3～5歳）



『わたしのかみのけのばしたら?』 おおの こうへい／さく・え

・かみのけを切らずにのばしたら、何ができるのかな？かみのけマフラー、かみのけハット、かみのけドレス。さらに、もっともっとのばしたら…。子どもの想像力を育てるユーモア妄想絵本第4弾。（幼3～5歳）



『うみとねこ』 アン・モーティマー／え

・白と黒の毛のねこ・スニーカーは、飼い主たちといっしょに初めての海へ行きました。魚を獲ろうと岩場から海へ足を入れてみたり、砂浜で小さなエビを追いかけてみたりしているうちに、なんだか空気がひんやりってきて…。（幼0～5歳）



『いちにちおこめ』 かわしま ななえ／え

・おこめって、どうやってつくってるんだろう。よし、おこめになってみよう！「たねもみ」になって、たねとして植えられると、によきによきっとのびて…。一粒のおこめができるまでを描いた、「いちにち」シリーズ第12弾。（幼3～5歳）



『おにぎりのなかにおにがいる』 あわい／え

・「おにぎり」ということばのなかには、「おに」ということばがかくれています。ほかのことばには、どんな生きものがかくれているでしょうか？ことばあそびをつうじて、日本語のおもしろさを伝え、豊かな言語感覚を育む絵本。（幼0～5歳、小初）



『かみなりせんによといなづませんによ』 チン テラム／え

・とても高いところにあるお空の国。雲をつくるしごとに退屈したふたりのおちび仙女は、じゃまな羽衣を脱ぎすぎて、下の世界を見物しに行こうとしますが…。韓国で初めてノーベル賞を受賞した小説家が子どものために書いた絵本。（幼3～5歳、小初）



『ある星の汽車』 森 洋子／著

・広い大地を走る汽車に、さまざまな鳥や動物が乗っています。しばらくすると、車掌さんに声をかけられたモーリシャスドードーやブルーバックなど、乗客たちが次々と降りていき…。絶滅動物を描いた絵本。（幼3～5歳、小初）



『あおいことり』 なかの 真実／絵

・あおいことりは、大切な家を作るために、もう何日も、森から森へ、こぶしの小枝を探しまわっていました。けれど、どこへ行ってもこぶしの木はありません。そんなんある日、猫に出会い…。「ねこととり」のもうひとつの物語。（幼3～5歳、小初）